

補足資料

ことばを楽しむ児童を育てる教材・授業研究

— 「書くこと・作文」指導において —

鳴門教育大学大学院 学校教育研究科 教科・領域教育専攻 言語系コース（国語） 村井 万里子 研究室
南国市立長岡小学校 教諭 和田 八重子

A

◎ 具体的な作文指導法 — 先行実践の考察をふまえて —

ア 亀村五郎の「赤ペン」(＝評語) 指導

(ア) 「②解釈」としての「赤ペン」

〔具体的作品1〕¹⁾

「一年・女」作品と、それに対する亀村五郎の分析

一年・女

わたしわ
みみづおみました
みみづおすすきくんが
みみづお
つかみました

この作品を、この子どもと、この子どもの生活を知らない人が見たら、それこそ何のことかわからないし、ただ稚拙な文としか思えないだろうと思います。

わたしわの、助詞のわの字のちがいが、みみづおのづのちがいが、助詞おの字のちがいが、そして、みみづおということばを、つづけて三度も使っています。(中略 引用者)

けれども、この作品は、この子どもの生活と、この日のことを知っている教師であったら、きっと、そうは思わないだろうと思います。(中略 引用者)

私は、この作品を見たとき、この子どもに、
「あなたの文は、おかしいですね。みみずということばを三度も使っています。これは一つで足りるではありませんか。」

というようなことは決していいませんし、直してやろうとも思いません。

なぜならば、この子どもは、たしかに表現上のまちがいをおかしてはいますが、「みみずを」と、三度使ったのは、それなりに意味があるからなのです。

この子どもの、最初の「みみずを」は、今まで、この子どもが見たこともないような鉛筆ほどの太さでしかも、輪のようにまるくなったりピンとはねたりする、もも色がかったしばみみずのことですし、次の「みみずを」は、この、おそろしいような、気味の悪いようなという、自分の恐怖をおりこんだみみずです。そして、三番目の「みみずを」は、わたしなどにはとてもさわることも、もつこともできないようなみみず、ということなのです。

すなわち、この子どもにとって、この「みみずを」は、意味なく三度使ったものではなくて、一つ一つ、それぞれが、意味をもって使っているといえるのです。(後略 引用者)

B

(イ) 「㊦刺激」としての「赤ペン」

〔亀村五郎「だれにも書ける赤ペン十一か条」(< >内は、引用者が内容をまとめたもの) ²⁾

- 1 ねらいをもって、まとをしぼる
〈指導ポイントの焦点化を図って書く〉
- 2 子どもの顔を目の前に
〈子どもを明確にイメージして書く〉
- 3 子どものなまえを入れて
〈学習者の名前を書き入れて、個人への語りかけであることを伝える〉
- 4 はずかしがらず、気どらず
〈指導者がもてる力で、等身大の姿で書く〉
- 5 いつものことば、話しかけの書き方で
〈書きことばではなく、学習者に話しかけるように書く〉
- 6 よいところをみつけてほめる
〈内容・表現以外でも必ず何かのよさを見つけ、それをほめてのばす〉
- 7 楽しく、わかりやすく
〈学習者の書く意欲につながるよう、楽しい赤ペンを書く〉
- 8 “くわしく書け” は、くわしくない
〈注意・助言をする場合は、何をどうすべきかを具体的に示す〉
- 9 赤ペンは、欄外にも書く
〈赤ペンは文末だけでなく、文の途中にも適宜入れる〉
- 10 子どものまねと赤ペン
〈学習者の力を伸ばすことがねらいなので、他者をまねた表現もほめる〉
- 11 書かない子どもへの赤ペン
〈何も書かない場合も書くように促すために赤ペンを入れ続ける〉

C

11 書かない子どもへの赤ペン

〔具体的赤ペン1〕³⁾

●日常のことを

たとえば、その子どもが、その日、キック・ベースボールで、ホームランを打ったとします。そうしたら、そのことを書いてやるのです。

★きょうの達夫のホームランは、大きかったぞ。やっぱり、ボクが言ったように、横からけらずに、まっすぐけたのが、よかった。あれなら、よくとぶ。それにしても大きかったなあ。もうすこしで体育館にとびこむところだったぞ。もっとも、ボクなら、もっとでっかいのを打つけどなあ。

というような具合です。

ものとして③を記入するようにした方が、スムーズに考えることができるだろう。考える順序を明確に示すことで、②のテーマ内で、③の具体的なエピソードを考えることとなり、思考を掘り下げて、深めていくことにつながると考える。

【引用・参考文献】

- 1) 亀村五郎 『子どもを生かす——作品研究』 百合出版 1980年 pp.18-21
- 2) 亀村五郎 『子どもをはげます——赤ペン《評語》の書き方』 百合出版 1979年 pp.65-123
- 3) 2)に同じ p.120
- 4) 2)に同じ pp.120-121
- 5) 高知県教育委員会 『高知県国語学習シート 小学校編』 2010年